

景況レポート

No.142

2023年1月～3月期



北見しんきん

〒090-8711 北見市大通東1丁目2番地1
電話(代) 0157-24-7531
URL: <http://www.shinkin.co.jp/kitami/>
本レポートはホームページでもご覧になれます。

景気動向

道内景気

日本銀行札幌支店が4月3日に発表した3月の企業短期経済観測調査結果(短観)によりますと、道内企業の景況感を示す業況判断指数(DI:「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値)は全産業で『7』となり、前回の調査『5』から改善しました。内訳では、製造業(前回2→今回▲6)は悪化、非製造業(前回5→今回11)は改善しました。2023年6月までの全産業での先行き予測は▲1と、悪化の見通しです。

また4月3日に発表された道内の金融経済概況は次の通りです。道内の景気は、緩やかに持ち直している。個人消費は、緩やかに増加している。観光は、緩やかに持ち直している。設備投資は、緩やかに持ち直している。公共投資は、弱めの動きとなっている。住宅投資は、減少している。生産は、横ばい圏内の動きとなっている。輸出は、高水準で推移している。雇用・所得情勢をみると、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに改善している。

- ・ 公共工事請負金額は、弱めの動きとなっている。
- ・ 個人消費は、百貨店は、緩やかに持ち直している。スーパーは、増勢が鈍化している。コンビニエンスストアは、緩やかに増加している。ドラッグストアは、増加している。家電販売は、横ばい圏内の動きとなっている。乗用車販売は、緩やかに持ち直している。サービス消費は、持ち直している。
- ・ 観光は、緩やかに持ち直している。
- ・ 新設住宅着工戸数をみると、持家、分譲は、減少している。貸家は、下げ止まりつつある。
- ・ 生産(鉱工業生産)は、横ばい圏内の動きとなっている。主要業種別にみると、輸送機械では、持ち直しつつある。食料品、電気機械では、横ばい圏内の動きとなっている。紙・パルプでは、下げ止まっている。
- ・ 雇用・所得情勢をみると、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに改善している。
- ・ 消費者物価(除く生鮮食品)は、前年比が前月を下回った。
- ・ 企業倒産は、低水準で推移している。

地区内景気

今回の当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したDI値は、売上高が▲8と1ポイントの改善、収益も▲18と3ポイントの改善でした。直前3ヵ月と比較した今後3ヵ月の見通しでは、売上DI値は7、収益DI値は▲5と改善の見通しとなっています。

特別調査 【中小企業におけるデジタル化への対応について】

インボイス制度や電子帳簿保存法改正への対応や生産性向上といった経営課題に対して、デジタル化は有効な解決手段の一つとなります。そこで、今回はデジタル化への対応状況について調査しました。

【インボイス制度への対応】

課税事業者の 83.6%が既に発行事業者への登録申請を行っており、全国の水準を上回りました。

一方、免税事業者においては、登録申請を行うとの回答（予定も含む）は 0 となり、また、7割が対応方針を決めかねている状況となっています。

【電子帳簿保存法改正への認知度と対応】

認知度については、「内容までよく知っている」「意味はある程度わかる」の合計が 70.7%となった一方、「聞いたことがない（5.5%）」との回答もありました。

対応については、「対応できている」「一部対応できている」の合計は 49.2%にとどまりました。「対応できていない」は 34.9%となり、全国水準を上回っています。

【手形とでんさいの利用状況】

手形については、「全く使っていない（61.7%）」が最も多く、全国水準も上回った一方、「取引の 50%以上」が 9.4%となり、こちらも全国水準を上回りました。

でんさいについては、「全く使っていない」が 8割を超えています。

【デジタル化投資の費用対効果と今後の計画】

満足度については、「やや満足している」が 33.3%となった一方、「あまり満足していない」が 26.7%とまぢまぢの結果となりました。

今後の計画については、「現状維持の予定（48.0%）」が最も多く、以下「デジタル化投資は行わない（26.6%）」「拡充する予定（24.9%）」と続きました。

【デジタル化を進めるに際しての問題点・課題】

「導入・維持にかかるコスト負担が大きい（38.1%）」が最も多く、以下「活用方法に関する知識の不足（30.9%）」「セキュリティの確保への不安（28.7%）」と続きました。

7つの回答が 20%を超えており、デジタル化対応に苦慮している状況が窺われます。

【2023年10月に開始予定の「インボイス制度（適格請求書等保存方式）」へ向けて、インボイス（適格請求書）発行事業者への登録申請を求める動きがありますが、貴社ではどのように対応していますか。現在、消費税を納付している「課税事業者」の方は1~3から、消費税の納税免除を受けている「免税事業者」の方は4~8から、それぞれ最もあてはまるものを1つ、選んでお答えください。】

| 課税事業者 | 《全国》 | |
|----------------------|-------|-------|
| 1. 既に登録申請を行った | 83.6% | 71.8% |
| 2. まだ登録申請をしていない | 11.7% | 24.2% |
| 3. 「インボイス制度」自体がわからない | 4.6% | 4.0% |

| 免税事業者 | 《全国》 | |
|------------------------------|-------|-------|
| 4. 既に登録申請を行った | 0.0% | 13.7% |
| 5. 近いうちに登録申請を行う予定 | 0.0% | 25.3% |
| 6. 登録申請は行わない予定 (免税事業者のまま) | 20.0% | 18.6% |
| 7. まだ対応方針は決めていない | 70.0% | 31.9% |
| 8. 「インボイス制度」自体がわからない | 10.0% | 10.5% |

【電子帳簿保存法（電帳法）が改正され、請求書などに関する電子データを送付・受領した場合には、その電子データを一定の要件を満たした形で保存することが必要となりました。この改正について、貴社の認知度を1~4から、対応を5~9から、それぞれ1つお答えください。】

| 認知度 | 《全国》 | |
|----------------|-------|-------|
| 1. 内容までよく知っている | 17.7% | 19.1% |
| 2. 意味はある程度わかる | 53.0% | 56.8% |
| 3. 名前しか知らない | 23.8% | 19.4% |
| 4. 聞いたことがない | 5.5% | 4.7% |

| 対応 | 《全国》 | |
|--------------------------------|-------|-------|
| 5. 対応できている | 14.3% | 17.3% |
| 6. 一部対応できている | 34.9% | 37.8% |
| 7. 対応できていない | 34.9% | 28.6% |
| 8. 電子データの授受をしておらず、 当社には関係ない | 6.3% | 4.9% |
| 9. よくわからない | 9.7% | 11.5% |

【貴社では、企業間での資金決済の際、手形をどの程度利用していますか。また、でんさい（電子記録債権）をどの程度利用していますか。手形については1~5から、でんさいについては6~0から、それぞれ1つお答えください。】

| 手形 | 《全国》 | |
|--------------------|-------|-------|
| 1. 取引の 50%以上 | 9.4% | 4.9% |
| 2. 取引の 30%以上~50%未満 | 7.8% | 8.6% |
| 3. 取引の 10%以上~30%未満 | 12.2% | 13.8% |
| 4. 取引の 10%未満 | 8.9% | 17.7% |
| 5. 全く使っていない | 61.7% | 55.0% |

| でんさい | 《全国》 | |
|--------------------|-------|-------|
| 6. 取引の 50%以上 | 1.7% | 4.8% |
| 7. 取引の 30%以上~50%未満 | 3.9% | 4.3% |
| 8. 取引の 10%以上~30%未満 | 2.3% | 7.4% |
| 9. 取引の 10%未満 | 11.2% | 12.4% |
| 0. 全く使っていない | 80.9% | 71.1% |

【貴社では、これまで行ってきたデジタル化投資（コンピュータ、ネットワーク関連機器・ソフトウェアの購入、利用環境の整備等全般）の費用対効果について、どのように感じていますか。1~5から1つお答えください。また、今後のデジタル化投資の計画について、6~9から1つお答えください。】

| デジタル化投資の満足度 | 《全国》 | |
|------------------------|-------|-------|
| 1. 大いに満足している | 5.6% | 4.2% |
| 2. やや満足している | 33.3% | 39.7% |
| 3. あまり満足していない | 26.7% | 27.5% |
| 4. まったく満足してない | 3.3% | 3.7% |
| 5. もともとデジタル化投資を実施していない | 31.1% | 24.9% |

| 今後のデジタル化投資の計画 | 《全国》 | |
|-----------------|-------|-------|
| 6. 拡充する予定 | 24.9% | 26.8% |
| 7. 現状維持の予定 | 48.0% | 51.1% |
| 8. 縮小する予定 | 0.6% | 0.8% |
| 9. デジタル化投資は行わない | 26.6% | 21.3% |

【貴社では、デジタル化を進めるに際しての問題点・課題として、どのようなものが考えられますか。次の1~0の中から最大で3つまでお答えください。】

| | 《全国》 | |
|-----------------------|-------|-------|
| 1. 費用対効果の把握が困難 | 27.6% | 29.3% |
| 2. 技術革新が速すぎて対応しきれない | 23.8% | 17.5% |
| 3. セキュリティの確保への不安 | 28.7% | 30.3% |
| 4. トラブル発生時の対応が困難 | 24.3% | 23.0% |
| 5. 導入・維持にかかるコスト負担が大きい | 38.1% | 33.0% |
| 6. 情報分野に長けた社員の不足 | 28.2% | 30.6% |
| 7. 活用方法に関する知識の不足 | 30.9% | 25.4% |
| 8. 経営者・社員が必要と感じていない | 11.1% | 8.8% |
| 9. その他 | 0.6% | 0.5% |
| 0. 特に問題点・課題はない | 9.4% | 10.8% |

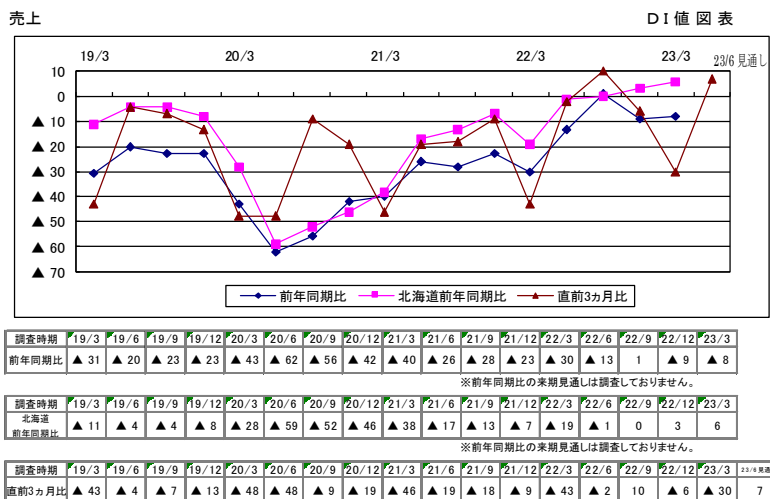
売上

調査対象先企業 181 社の売上を総体的にみますと、前年同期（22 年 1～3 月）と比較して「増加」した先 28%、「変わらず」の先 36%、「減少」した先 36%で、その D I 値（増加割合－減少割合）は▲8 となり、前回調査より 1 ポイント改善しました。

業種別で見ますと、小売業・サービス業は改善、製造業・卸売業・建設業は悪化となっています。

3 カ月毎の比較では悪化、今後 3 カ月は改善の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1 ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。



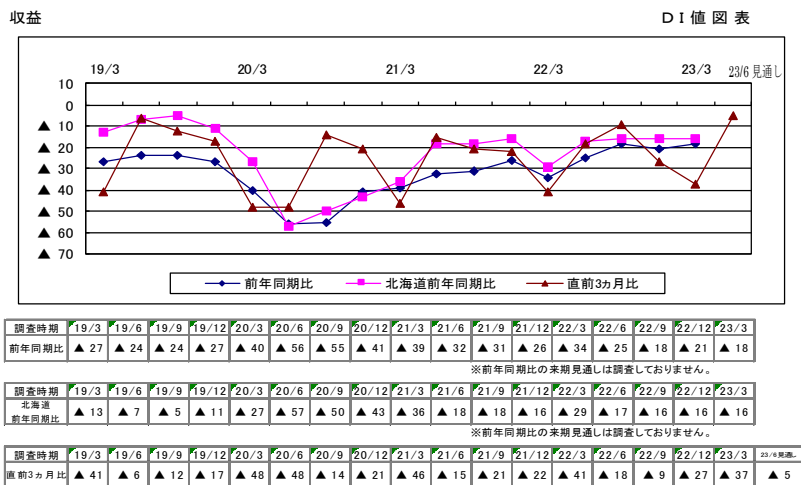
収益

調査対象先企業 181 社の収益を総体的にみますと、前年同期（22 年 1～3 月）と比較して「増加」した先 22%、「変わらず」の先 38%、「減少」した先 40%で、その D I 値（増加割合－減少割合）は▲18 となり、前回調査より 3 ポイント改善しました。

業種別で見ますと、小売業・サービス業は改善、製造業・卸売業は悪化、建設業は横ばいとなっています。

3 カ月毎の比較では悪化、今後 3 カ月は改善の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1 ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。



概況

調査先製造業全体の業況を前年同期（22年1～3月）と比較してみますと、売上で「増加」した先26%、「変わらず」の先32%、「減少」した先42%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲16となり、前回調査より19ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先26%、「変わらず」の先25%、「減少」した先49%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲23となり、前回調査より7ポイント悪化しました。

調査回答数（前年同期比）

| | | 増加 | 変わらず | 減少 | DI値 |
|----|-----------|----|------|----|-----|
| 売上 | 前回(22/12) | 12 | 8 | 11 | 3 |
| | 今回(23/3) | 8 | 10 | 13 | ▲16 |
| 収益 | 前回(22/12) | 6 | 14 | 11 | ▲16 |
| | 今回(23/3) | 8 | 8 | 15 | ▲23 |

動向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに悪化しました。

内訳をみますと、食料品は改善しましたが、それ以外は全般的に悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上、収益ともに悪化しました。

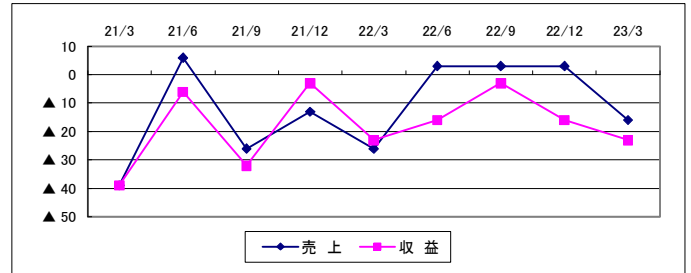
【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善の見通しです。

調査員のコメントには、「旅行者の増加やデパート催事の再開に伴い需要増加している」、「原材料価格は高騰しているが、値上げにより対応できている」、「原材料価格の高騰の影響が大きく、経費削減に努めている」、「住宅着工数の減少により木材販売が減少している」、「需要低下などにより木材価格が低下傾向にある」といったものがありました。

前年同期比

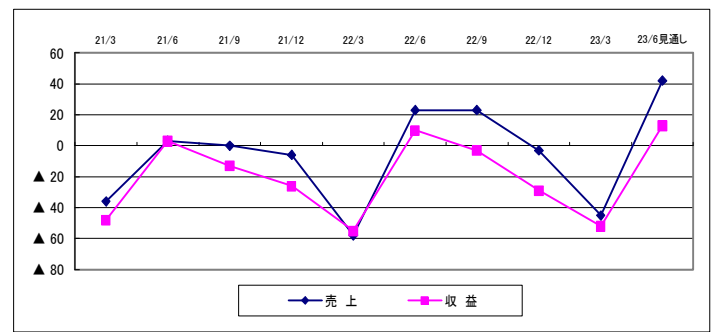
DI値図表



| 調査時期 | 21/3 | 21/6 | 21/9 | 21/12 | 22/3 | 22/6 | 22/9 | 22/12 | 23/3 |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|
| 売上 | ▲39 | 6 | ▲26 | ▲13 | ▲26 | 3 | 3 | 3 | ▲16 |
| 収益 | ▲39 | ▲6 | ▲32 | ▲3 | ▲23 | ▲16 | ▲3 | ▲16 | ▲23 |

直前3ヵ月比

DI値図表



| 調査時期 | 21/3 | 21/6 | 21/9 | 21/12 | 22/3 | 22/6 | 22/9 | 22/12 | 23/3 | 23/6見通し |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|---------|
| 売上 | ▲36 | 3 | 0 | ▲6 | ▲58 | 23 | 23 | ▲3 | ▲45 | 42 |
| 収益 | ▲48 | 3 | ▲13 | ▲26 | ▲55 | 10 | ▲3 | ▲29 | ▲52 | 13 |

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

| 項目 | | 全体 | 食料品 | 木材製品 | 建設関連 | その他 |
|-------|------------|-----|-----|------|------|-----|
| 売上額 | 10月～12月と比較 | ▲45 | ▲13 | ▲100 | 13 | ▲80 |
| | 4月～6月の見通し | 42 | 63 | 50 | 37 | 0 |
| 収益 | 10月～12月と比較 | ▲52 | ▲38 | ▲100 | 0 | ▲60 |
| | 4月～6月の見通し | 13 | 12 | 40 | ▲12 | 0 |
| 販売価格 | 10月～12月と比較 | 16 | 63 | ▲20 | 13 | 20 |
| | 4月～6月の見通し | 23 | 63 | ▲10 | 25 | 20 |
| 原材料価格 | 10月～12月と比較 | 55 | 75 | 20 | 75 | 60 |
| | 4月～6月の見通し | 49 | 75 | 0 | 75 | 60 |
| 原材料在庫 | 10月～12月と比較 | 3 | 13 | ▲10 | 0 | 20 |
| | 4月～6月の見通し | ▲3 | 0 | ▲10 | ▲13 | 20 |
| 資金繰 | 10月～12月と比較 | ▲16 | 0 | ▲40 | ▲13 | 0 |
| | 4月～6月の見通し | ▲13 | 0 | ▲30 | ▲13 | 0 |

概況

調査先卸売業全体の業況を前年同期（22年1～3月）と比較してみると、売上で「増加」した先27%、「変わらず」の先41%、「減少」した先32%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲5となり、前回調査より23ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先23%、「変わらず」の先40%、「減少」した先37%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲14となり、前回調査より19ポイント悪化しました。

販売価格は「増加」した先64%、「変わらず」の先27%、「減少」した先9%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は55となり、前回調査より4ポイント下降しました。

調査回答数（前年同期比）

| | | 増加 | 変わらず | 減少 | DI値 |
|------|-----------|----|------|----|-----|
| 売上 | 前回(22/12) | 8 | 10 | 4 | 18 |
| | 今回(23/3) | 6 | 9 | 7 | ▲5 |
| 収益 | 前回(22/12) | 6 | 11 | 5 | 5 |
| | 今回(23/3) | 5 | 9 | 8 | ▲14 |
| 販売価格 | 前回(22/12) | 14 | 7 | 1 | 59 |
| | 今回(23/3) | 14 | 6 | 2 | 55 |

動向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに悪化し、販売価格は下降しました。内訳をみましても全般的に悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

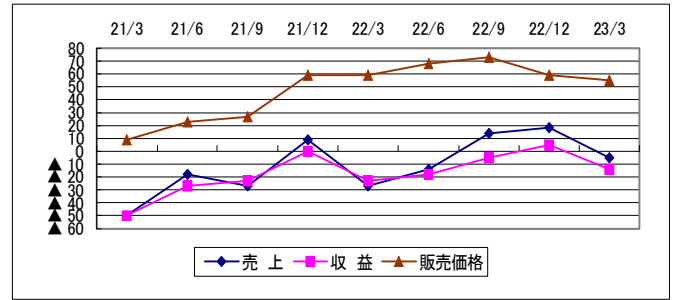
売上・収益ともに悪化、販売価格は上昇しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善し、販売価格は下降する見通しです。

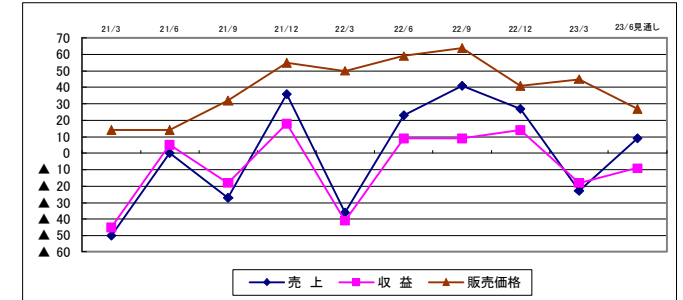
調査員のコメントには、「仕入価格の上昇分は販売価格へ転嫁できている」、「公共工事の積算単価改定により収益性向上が見込まれる」、「住宅需要低下に伴い受注が減少している」といったものがありました。

前年同期比 DI値図表



| 調査時期 | 21/3 | 21/6 | 21/9 | 21/12 | 22/3 | 22/6 | 22/9 | 22/12 | 23/3 |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|
| 売上 | ▲50 | ▲18 | ▲27 | 9 | ▲27 | ▲14 | 14 | 18 | ▲5 |
| 収益 | ▲50 | ▲27 | ▲23 | 0 | ▲23 | ▲18 | ▲5 | 5 | ▲14 |
| 販売価格 | 9 | 23 | 27 | 59 | 59 | 68 | 73 | 59 | 55 |

直前3ヵ月比 DI値図表



| 調査時期 | 21/3 | 21/6 | 21/9 | 21/12 | 22/3 | 22/6 | 22/9 | 22/12 | 23/3 | 23/6見通し |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|---------|
| 売上 | ▲50 | 0 | ▲27 | 36 | ▲36 | 23 | 41 | 27 | ▲23 | 9 |
| 収益 | ▲45 | 5 | ▲18 | 18 | ▲41 | 9 | 9 | 14 | ▲18 | ▲9 |
| 販売価格 | 14 | 14 | 32 | 55 | 50 | 59 | 64 | 41 | 45 | 27 |

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

| 項目 | | 全体 | 食料品 | 建設関連 | その他 |
|------|------------|-----|-----|------|-----|
| 売上額 | 10月～12月と比較 | ▲23 | 0 | ▲45 | ▲14 |
| | 4月～6月の見通し | 9 | ▲17 | 22 | 14 |
| 収益 | 10月～12月と比較 | ▲18 | 0 | ▲33 | ▲14 |
| | 4月～6月の見通し | ▲9 | ▲50 | 11 | 0 |
| 販売価格 | 10月～12月と比較 | 45 | 33 | 44 | 57 |
| | 4月～6月の見通し | 27 | 0 | 33 | 43 |
| 仕入価格 | 10月～12月と比較 | 50 | 33 | 33 | 86 |
| | 4月～6月の見通し | 36 | 17 | 33 | 57 |
| 在庫 | 10月～12月と比較 | 23 | 17 | 22 | 29 |
| | 4月～6月の見通し | 23 | 17 | 33 | 14 |
| 資金繰 | 10月～12月と比較 | 0 | ▲17 | 11 | 0 |
| | 4月～6月の見通し | ▲5 | ▲17 | 0 | 0 |

概況

調査先小売業全体の業況を前年同期（22年1～3月）と比較してみると、売上で「増加」した先39%、「変らず」の先27%、「減少」した先34%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は5となり、前回調査より25ポイント改善しました。

収益は「増加」した先27%、「変らず」の先41%、「減少」した先32%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲5となり、前回調査より24ポイント改善しました。

販売価格は「増加」した先49%、「変らず」の先41%、「減少」した先10%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は39となり、前回調査より5ポイント下降しました。

調査回答数（前年同期比）

| | | 増加 | 変らず | 減少 | D I 値 |
|------|-----------|----|-----|----|-------|
| 売上 | 前回(22/12) | 10 | 13 | 18 | ▲20 |
| | 今回(23/3) | 16 | 11 | 14 | 5 |
| 収益 | 前回(22/12) | 8 | 13 | 20 | ▲29 |
| | 今回(23/3) | 11 | 17 | 13 | ▲5 |
| 販売価格 | 前回(22/12) | 21 | 17 | 3 | 44 |
| | 今回(23/3) | 20 | 17 | 4 | 39 |

動向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに改善し、販売価格は下降しました。内訳をみましても全般的に改善しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに改善し、販売価格は上昇しました。

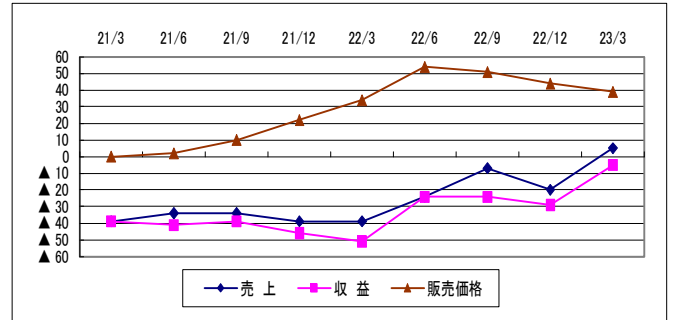
【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善し、販売価格は上昇する見通しです。

調査員のコメントには、「仕入価格の上昇分は販売価格に転嫁できている」、「自転車の仕入価格上昇が止まらない」、「新車（自動車）の納車長期化が続いている」、「中古自動車の価格が高止まりしている」、「担当者の知識不足によりデジタル化の対応が遅れている」といったものがありました。

前年同期比

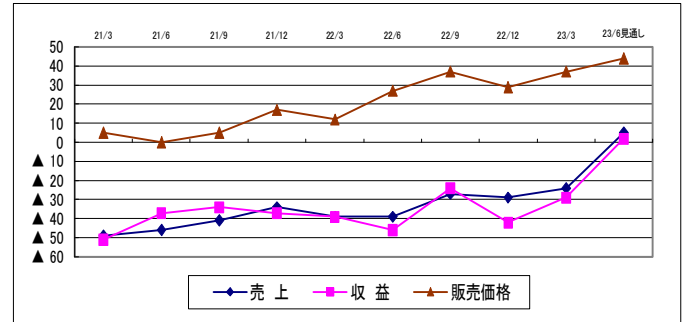
D I 値図表



| 調査時期 | 21/3 | 21/6 | 21/9 | 21/12 | 22/3 | 22/6 | 22/9 | 22/12 | 23/3 |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|
| 売上 | ▲39 | ▲34 | ▲34 | ▲39 | ▲39 | ▲24 | ▲7 | ▲20 | 5 |
| 収益 | ▲39 | ▲41 | ▲39 | ▲46 | ▲51 | ▲24 | ▲24 | ▲29 | ▲5 |
| 販売価格 | 0 | 2 | 10 | 22 | 34 | 54 | 51 | 44 | 39 |

直前3ヵ月比

D I 値図表



| 調査時期 | 21/3 | 21/6 | 21/9 | 21/12 | 22/3 | 22/6 | 22/9 | 22/12 | 23/3 | 23/6見通し |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|---------|
| 売上 | ▲49 | ▲46 | ▲41 | ▲34 | ▲39 | ▲39 | ▲27 | ▲29 | ▲24 | 5 |
| 収益 | ▲51 | ▲37 | ▲34 | ▲37 | ▲39 | ▲46 | ▲24 | ▲42 | ▲29 | 2 |
| 販売価格 | 5 | 0 | 5 | 17 | 12 | 27 | 37 | 29 | 37 | 44 |

直前3ヵ月比調査の業種別状況(D I 値による) (%)

| 項目 | 全体 | 衣料品 | 食料品 | その他 | |
|------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 売上額 | 10月～12月と比較 | ▲24 | ▲17 | ▲40 | ▲15 |
| | 4月～6月の見通し | 5 | ▲67 | 47 | ▲5 |
| 収益 | 10月～12月と比較 | ▲29 | ▲33 | ▲47 | ▲15 |
| | 4月～6月の見通し | 2 | ▲50 | 40 | ▲10 |
| 販売価格 | 10月～12月と比較 | 37 | 33 | 40 | 35 |
| | 4月～6月の見通し | 44 | 33 | 67 | 30 |
| 仕入価格 | 10月～12月と比較 | 66 | 33 | 93 | 55 |
| | 4月～6月の見通し | 54 | 33 | 80 | 40 |
| 在庫 | 10月～12月と比較 | ▲7 | ▲17 | 13 | ▲20 |
| | 4月～6月の見通し | ▲5 | 17 | 0 | ▲15 |
| 資金繰 | 10月～12月と比較 | ▲22 | ▲17 | ▲20 | ▲25 |
| | 4月～6月の見通し | ▲12 | ▲33 | ▲13 | ▲5 |

概況

調査先建設業全体の業況を前年同期（22年1～3月）と比較してみますと、売上で「増加」した先26%、「変わらず」の先25%、「減少」した先49%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲23となり、前回調査より3ポイント悪化しました。

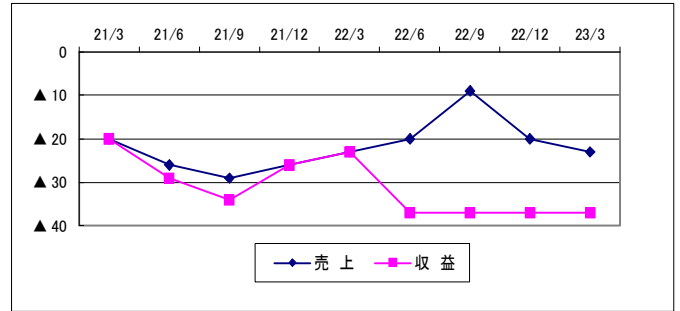
収益は「増加」した先17%、「変わらず」の先29%、「減少」した先54%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲37となり、前回調査と同じでした。

調査回答数（前年同期比）

| | | 増加 | 変わらず | 減少 | D I 値 |
|----|-----------|----|------|----|-------|
| 売上 | 前回(22/12) | 7 | 14 | 14 | ▲20 |
| | 今回(23/3) | 9 | 9 | 17 | ▲23 |
| 収益 | 前回(22/12) | 4 | 14 | 17 | ▲37 |
| | 今回(23/3) | 6 | 10 | 19 | ▲37 |

前年同期比

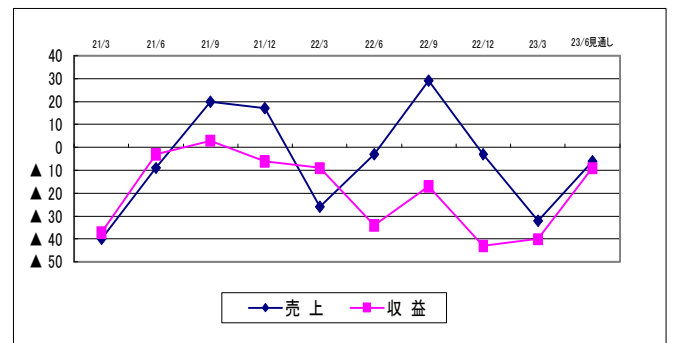
DI値図表



| 調査時期 | 21/3 | 21/6 | 21/9 | 21/12 | 22/3 | 22/6 | 22/9 | 22/12 | 23/3 |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|
| 売上 | ▲20 | ▲26 | ▲29 | ▲26 | ▲23 | ▲20 | ▲9 | ▲20 | ▲23 |
| 収益 | ▲20 | ▲29 | ▲34 | ▲26 | ▲23 | ▲37 | ▲37 | ▲37 | ▲37 |

直前3ヵ月比

DI値図表



| 調査時期 | 21/3 | 21/6 | 21/9 | 21/12 | 22/3 | 22/6 | 22/9 | 22/12 | 23/3 | 23/6見通し |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|---------|
| 売上 | ▲40 | ▲9 | 20 | 17 | ▲26 | ▲3 | 29 | ▲3 | ▲32 | ▲6 |
| 収益 | ▲37 | ▲3 | 3 | ▲6 | ▲9 | ▲34 | ▲17 | ▲43 | ▲40 | ▲9 |

動向

【前年同期との比較】

売上は悪化し、収益は横ばいでした。

内訳のD I 値の推移は以下のようになっています。

- ・ 土木売上：前回▲42→今回▲33
- ・ 同 収益：前回▲42→今回▲58
- ・ 建築売上：前回▲18→今回▲29
- ・ 同 収益：前回▲59→今回▲47

【直前3ヵ月との比較】

売上は悪化し、収益は改善しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善の見通しです。

調査員のコメントには、「一般住宅の需要は旺盛なため、販売住宅も含めて積極的に取り組んでいく」、「木材をはじめとした建築資材の価格が高止まりしているため、利益確保が課題となっている」、「公共工事減少の影響が大きい」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

| 項目 | | 全体 | 土木 | 建築 | その他 |
|------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 売上額 | 10月～12月と比較 | ▲32 | ▲42 | ▲35 | 0 |
| | 4月～6月の見通し | ▲6 | ▲8 | ▲6 | 0 |
| 施工高 | 10月～12月と比較 | ▲26 | ▲42 | ▲29 | 17 |
| | 4月～6月の見通し | ▲3 | 8 | ▲12 | 0 |
| 収益 | 10月～12月と比較 | ▲40 | ▲58 | ▲35 | ▲17 |
| | 4月～6月の見通し | ▲9 | ▲8 | ▲24 | 33 |
| 請負価格 | 10月～12月と比較 | 37 | 42 | 35 | 33 |
| | 4月～6月の見通し | 40 | 58 | 29 | 33 |
| 材料価格 | 10月～12月と比較 | 63 | 75 | 65 | 33 |
| | 4月～6月の見通し | 69 | 83 | 71 | 33 |
| 在庫 | 10月～12月と比較 | 3 | 0 | 6 | 0 |
| | 4月～6月の見通し | 0 | ▲8 | 6 | 0 |
| 資金繰 | 10月～12月と比較 | 3 | 8 | ▲6 | 17 |
| | 4月～6月の見通し | 3 | 8 | ▲12 | 33 |

概況

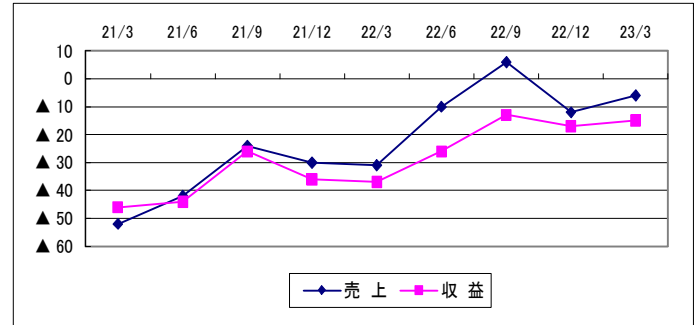
調査先サービス業全体の業況を前年同期(22年1~3月)と比較してみますと、売上で「増加」した先21%、「変わらず」の先52%、「減少」した先27%で、そのD I 値(増加割合-減少割合)は▲6となり、前回調査より6ポイント改善しました。

収益は「増加」した先17%、「変わらず」の先51%、「減少」した先32%で、そのD I 値(増加割合-減少割合)は▲15となり、前回調査より2ポイント改善しました。

調査回答数(前年同期比)

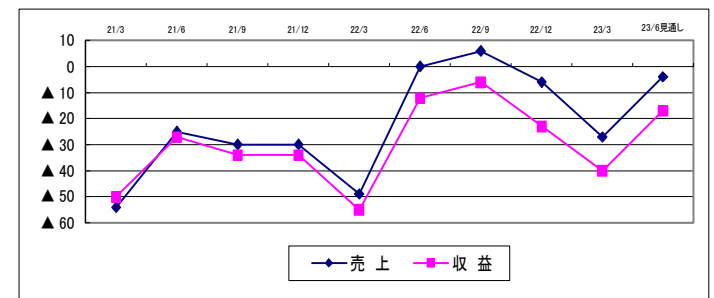
| | | 増加 | 変わらず | 減少 | D I 値 |
|----|-----------|----|------|----|-------|
| 売上 | 前回(22/12) | 11 | 24 | 17 | ▲12 |
| | 今回(23/3) | 11 | 27 | 14 | ▲6 |
| 収益 | 前回(22/12) | 9 | 25 | 18 | ▲17 |
| | 今回(23/3) | 9 | 26 | 17 | ▲15 |

前年同期比 DI値図表



| 調査時期 | 21/3 | 21/6 | 21/9 | 21/12 | 22/3 | 22/6 | 22/9 | 22/12 | 23/3 |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|
| 売上 | ▲52 | ▲42 | ▲24 | ▲30 | ▲31 | ▲10 | 6 | ▲12 | ▲6 |
| 収益 | ▲46 | ▲44 | ▲26 | ▲36 | ▲37 | ▲26 | ▲13 | ▲17 | ▲15 |

直前3ヵ月比 DI値図表



| 調査時期 | 21/3 | 21/6 | 21/9 | 21/12 | 22/3 | 22/6 | 22/9 | 22/12 | 23/3 | 23/6見通し |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|---------|
| 売上 | ▲54 | ▲25 | ▲30 | ▲30 | ▲49 | 0 | 6 | ▲6 | ▲27 | ▲4 |
| 収益 | ▲50 | ▲27 | ▲34 | ▲34 | ▲55 | ▲12 | ▲6 | ▲23 | ▲40 | ▲17 |

動向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに改善しました。

内訳をみますと、その他が改善し、理容美容が悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに悪化しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善する見通しです。

調査員のコメントには、「新たなサービスメニューの導入により増収傾向にある」、「高齢顧客の来店が減少している」、「売上に波があり、仕入価格も上昇しているため収益状況は厳しい」、「仕入価格の上昇を受け、全メニューの値上げを実施した」、「仕入価格の上昇が止まらず、経営に大きな影響を受けている」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

| 項目 | | 全体 | 理容美容 | 車両関係 | その他 |
|------|------------|-----|------|------|-----|
| 売上額 | 10月~12月と比較 | ▲27 | ▲25 | ▲47 | ▲17 |
| | 4月~6月の見通し | ▲4 | ▲25 | ▲20 | 10 |
| 収益 | 10月~12月と比較 | ▲40 | ▲75 | ▲47 | ▲28 |
| | 4月~6月の見通し | ▲17 | ▲63 | ▲20 | ▲4 |
| 料金価格 | 10月~12月と比較 | 13 | 0 | 13 | 17 |
| | 4月~6月の見通し | 17 | ▲13 | 20 | 24 |
| 材料価格 | 10月~12月と比較 | 67 | 38 | 87 | 66 |
| | 4月~6月の見通し | 64 | 38 | 80 | 62 |
| 資金繰 | 10月~12月と比較 | ▲23 | ▲38 | ▲27 | ▲17 |
| | 4月~6月の見通し | ▲17 | ▲38 | ▲33 | ▲3 |

経営上の問題点 【複数回答】

| | 1位 | 2位 | 3位 |
|-------|-------------------|----------------------|-------------------|
| 製造業 | 原材料高 83.9% | 売上の停滞・減少 51.6% | 利幅の縮小 29.0% |
| 卸売業 | 売上の停滞・減少 50.0% | 利幅の縮小 31.8% | 人手不足 27.3% |
| 小売業 | 売上の停滞・減少 43.9% | 仕入先からの値上げ要請 39.0% | 商圏人口の減少 34.1% |
| 建設業 | 材料価格の上昇 74.3% | 人手不足 60.0% | 売上の停滞・減少 57.1% |
| サービス業 | 材料価格の上昇 48.1% | 売上の停滞・減少 38.5% | 人手不足 25.0% |

経営施策 【複数回答】

| | 1位 | 2位 | 3位 |
|-------|------------------|--------------------|-------------------|
| 製造業 | 経費を節減する 64.5% | 販路を広げる 58.1% | 人材を確保する 41.9% |
| 卸売業 | 販路を広げる 54.5% | 経費を節減する 54.5% | 情報力を強化する 54.5% |
| 小売業 | 経費を節減する 65.9% | 売れ筋商品を取扱う 36.6% | 人材を確保する 29.3% |
| 建設業 | 人材を確保する 65.7% | 経費を節減する 45.7% | 技術力を高める 45.7% |
| サービス業 | 経費を節減する 46.2% | 人材を確保する 36.5% | 販路を広げる 34.6% |

【調査要領】

1. 調査地域 北見地方1市4町（北見市、置戸町、訓子府町、美幌町、津別町）
2. 調査時点 2023年 3月
2023年 1月～ 3月期の実績および見込み
2023年 4月～ 6月期の見通し
3. 調査対象企業 当金庫お取引先181社（任意抽出）
回答企業数 181社
回答率 100%
4. 調査方法 調査表による訪問聞き取り調査
調査表は信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」と同一のものを使用
5. 業種別回答企業数

| 製造業 | 卸売業 | 小売業 | 建設業 | サービス業 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-------|-----|
| 31 | 22 | 41 | 35 | 52 | 181 |

6. 分析方法 各質問項目を100分比に換算し、パーセント（%）数値による分析を行いました。また、好転か悪化の傾向をみる方法として、「増加割合－減少割合＝判断指数（DI値）」で分析を行いました。

企業の経理事務を便利にサポート
インターネットバンキング
WEB-FB

- 総合振込 ■給与・賞与振込 ■都度振込 ■口座振替 ■入出金明細照会 ■残高照会

低コスト！

インターネットが使える環境さえあれば、すぐにご利用が可能です。
 専用ソフト、専用端末などに余計な経費をかけません。

効率的！

総合振込、給与・賞与振込、都度振込、口座振替業務がインターネット経由でスピーディにご利用いただけます。
 振込や振替のデータは外部ファイルから取り込むこともできます。

便利！

登録先の口座以外でも当日振込が可能です。急な振込がオフィスのパソコンから随時できるので便利。
 また、振込完了や為替エラーなど、重要な連絡を電子メールでタイムリーにお知らせします。

安心！

一般者用ID、承認者用ID、管理者用IDの3つのIDで権限設定が可能です。
 登録したデータの承認を貴社の管理者がダイレクトにできるため、厳密なチェックが可能です。
 電子証明書とワンタイムパスワードにより、安全にご利用いただけます。

オホーツク圏経済情勢報告（令和5年1月判断）概況

| | 前回(4年10月判断) | 今回(5年1月判断) | 前回比較 | 総括判断の要点 |
|------|-------------------------------|--|------|--|
| 総括判断 | 物価上昇等の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある | 物価上昇等の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある 【判断の据え置きは、令和4年10月判断に続き2期連続】 | ⇒ | 個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。 観光は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。 また、雇用は、持ち直しつつある。 |

| | 前回(4年10月判断) | 今回(5年1月判断) | 前回比較 |
|------|------------------------------|------------------------------|------|
| 個人消費 | 物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある | 物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある | ⇒ |
| 観光 | 一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある | 一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある | ⇒ |
| 雇用 | 持ち直しの動きがみられる | 持ち直しつつある | ⇒ |
| 公共事業 | 前年を上回る | 前年を上回る | ⇒ |
| 住宅着工 | 前年を下回る | 前年を下回る | ⇒ |

| | |
|-----|---|
| 先行き | 先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。 |
|-----|---|